資料１～３　参考資料①

旧大和田小学校の利活用に係る経緯や開学に向けて

１　これまでの主な経緯について

・令和６年　２月　第１回定例会　施政方針

石井市長から、令和７年９月に空き公共施設になる予定の旧大和田小学校について、速やかな利活用を図るため、サウンディング型市場調査（以下「サウンディング」という。）や敷地の測量等の着手し、地域活性化への様々な可能性を模索していく方針を説明

・令和６年　６月　第２回定例会　公共交通及び公共施設等調査特別委員会

旧大和田小学校の利活用について、学校種別の異なる既存３校と連携し、更なる教育的発展が期待できる用途に限定した活用方針のもとで地域活性化を図ることとし、サウンディングの実施を報告

・令和６年　７月　「旧大和田小サウンディング型市場調査実施要領」を公表　調査実施

【参考：君津市ホームページ】

旧大和田小学校のサウンディング型市場調査を実施しました！

・令和６年１２月　第４回定例会　公共交通及び公共施設等調査特別委員会

サウンディング結果を報告

・令和６年１２月　サウンディング結果を公表

※資料１～３の参考資料②をご覧ください。

・令和７年　２月　議員連絡会議　公募実施を報告

第１回定例会　施政方針

石井市長から、周西の丘小学校周辺には、旧大和田小学校、周西中学校、県立君津高等学校が立地しており、「学園の丘」と呼ぶにふさわしい特徴的な街並みを形成している。

この地域特性を活かすため、旧大和田小学校の利活用については、「大学の誘致」に向けた取組を進め、学生だけでなく市民にも広く恩恵をもたらす教育の拠点を目指していく方針を説明

・令和７年　３月　「旧大和田小学校利活用学校法人募集要項」を公表　募集開始

【参考：君津市ホームページ】

【４月１５日更新】旧大和田小学校を利活用する学校法人を募集します！」

・令和７年　３月　第１回定例会

令和８年度当初予算（1 号補正）を全会一致で可決

「君津市私立大学設置運営補助金」８億円　債務負担行為の設定

・令和７年　５月　空き公共施設利活用推進委員会を開催

資格審査及び利活用内容審査を行い、学校法人タイケン学園を優先交渉権者（候補者）に選定

・令和７年　５月　議会全員協議会

優先交渉権者を学校法人タイケン学園に決定した旨を報告

・令和７年　５月　「空き公共施設利活用推進委員会の採点結果及び優先交渉権者の決定について」を公表

※資料１～３の参考資料③をご覧ください。

・令和７年　６月　自治会回覧にて「優先交渉権者決定・地域説明会の案内」を周知

・令和７年　７月　広報きみつにて「優先交渉権者決定・地域説明会の案内」を周知

・令和７年　７月　地域説明会（7/3、7/12）を周西公民館で開催

参加者から、大学の運営について賛同する声も多く、開学後の施設利用に関する意見交換もあり、全般的に肯定的な意見をいただきました。

※資料１～３の参考資料④をご覧ください。

・令和７年　８月　財産の無償譲渡（譲与）に係る仮契約

・令和７年　９月　第３回定例会

旧大和田小学校の利活用に係る議案「財産の無償譲渡について」を提出し、賛成多数で可決

・令和７年１０月　文部科学省からの財産処分申請の承認

・令和７年１０月　財産の無償譲渡（譲与）に係る契約の成立、土地建物等の所有権移転

・令和７年１０月　タイケン学園グループと包括連携協定を締結

２　開学に向けて（予定）

・令和９年　４月　日本ウェルネススポーツ大学君津キャンパス開学

資料１～３　参考資料②

旧大和田小学校サウンディング型市場調査結果

再整備の進む周西の丘小学校、周西中学校、県立君津高等学校という学校種別の異なる既存３校と連携し、更なる教育的発展が期待できる用途に限定した有効活用策について、４事業者の皆さまと意見交換を行いました。

いただいたご意見やご提案については、今後の利活用の検討において参考といたします。

１　調査対象施設の概要

(1) 施設名称：旧大和田小学校
(2) 所　在　地：君津市大和田４２５番地
(3) 土地面積：４５，５００平方メートル
(4) 延床面積：　９，８７６平方メートル

校舎

全景

２　経過

	内容	日程
1	実施要領の公表	令和６年　７月１２日（金）
2	現地見学会	令和６年　７月３０日（火） 令和６年　８月　７日（水）
3	サウンディング（個別）の実施	令和６年１０月２４日（木） 令和６年１０月２５日（金）

３　活用アイデアの概要

(1) スポーツ施設（最新ジム施設、スケートボード、ｅスポーツなど）
(2) 多世代・多文化交流を誘引する複合施設
(3) 大学
(4) 高校（通信制）

(5) 撮影スタジオ
(6) 地域活動の支援（部活動指導者の派遣、教室やグラウンドの貸出しなど）

4　主な意見内容

(1) 小中高が隣接しているため、一貫教育に適している。
(2) 敷地面積や建物の規模が大きいため、大学に適している。
(3) 市から一定の支援があれば、大学としての利活用も可能である。
(4) 周辺校の連携として、出前授業や部活動指導者の派遣、部活動顧問の養成を行うことで、教員負担を軽減することが可能である。
(5) 東京圏内から近郊であるため、集客力がある。
(6) 用途地域が第一種低層住居専用地域であるため、新たに建物を建築する際、法令上の制限に懸念がある。
(7) 空き公共施設全般に言えることだが、築年数が経過している施設の維持管理経費について、どの程度の費用が発生するか正確に見込めない懸念がある。

令和７年５月１６日　君津市議会全員協議会報告案件　資料１

旧大和田小学校利活用学校法人の公募結果について

企画政策部

令和７年９月から空き公共施設となる予定の旧大和田小学校について、応募のあった学校法人からの提案内容を審査し、今般、下記の者を優先交渉権者に決定した。

今後は、優先交渉権者と譲与（無償譲渡）契約の締結に向けた前提条件の協議を行いながら、地域住民への説明をし、施設の利活用を進めていく。

併せて、都市計画の変更手続きについて、より具体的な協議を進めていく。

１　優先交渉権者の概要

(1) 法人の名称　　学校法人　タイケン学園

(2) 代表者　　理事長　柴岡　三千夫

(3) 主たる事務所　　東京都板橋区成増一丁目１２番１９号

(4) 法人成立年月日　平成９年１０月３０日

(5) 資産の総額　　９０億３９２９万９２８０円

(6) 利活用内容　　大学（スポーツ関連学部）、通信制高校併設

２　今後の進め方（予定）

(1) 優先交渉権者との詳細協議（覚書の締結等）

(2) 地域説明

(3) 文部科学省への財産処分手続の準備

(4) 仮契約締結

(5) 土地建物の無償譲渡に係る議案の提出

(6) 都市計画の変更手続き

はまっぺ

【編集】
はまっぺ編集委員会
【発行】
君津市周西公民館
〒299-1147
君津市人見4-11-21
☎0439-57-6080
0439-55-8852
✉susai-k@city.kimitsu.lg.jp
https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/47/

56年間！ありがとう 周西の丘小学校 大引っ越し & 旧大和田小校舎 利活用へ

令和4年4月、大和田小学校と坂田小学校が統合し、周西の丘小学校が開校しました。これまで暫定的に旧大和田小校舎を使用していましたが、旧坂田小校舎の改修工事が終わり、令和7年9月に移転することとなりました。

今号では、引っ越し前の旧大和田小校舎での様子と、旧大和田小校舎の今後について（二面）をお伝えします。

旧大和田小学校でかくれんぼと感謝をこめて大掃除！

7月17日㈭、56年間お世話になった旧大和田小学校の親子大掃除が周西の丘小学校の皆さんによって行われました。PTAの中には卒業生も多く、今回は自由参加という形で保護者も子どもたちと一緒に大掃除をしました。

青木校長先生は、「子どもにとっても大人と一緒に一生懸命にやること、感謝の気持ちをもつこと、親子でタイアップできたことが良かったと思います」とお話しくださいました。

大掃除の様子

教室だけではなく、窓・ベランダ・階段下倉庫など普段やらない場所も全員が汗をかきながら学校中をきれいにすることができました。暑い中での作業は大変でしたが、皆さんの姿は生き生きとして楽しそうでした。

大掃除の日に校長室を訪れると、たくさんの子どもたちが先生と給食を食べていました。「学校かくれんぼ」において、上位3チームに贈呈された「校長先生と給食が食べられる券」を利用したそうです。

校長先生との給食

旧大和田小との思い出づくりに子どもたち発案によって計画された「学校かくれんぼ」。中心となったのは児童会と、思い出づくりの会実行委員会でした。ただ「やりたい」ではなく、ルールを守り、責任をもってやるという気持ちに先生方も全力でサポートをされて、「学校かくれんぼ」は大成功を収めました。

校長先生は、「小学5・6年といっても、自分たちだけでやるのはなかなか難しいですが、ある程度職員の手助けがあって、やったときの満足感、達成感が得られることと、あたかも自分たちで計画してやれたんだというシチュエーションを作ってあげられることがすごく大事」と子どもたちのやりたい！を快く受け入れてくれました。

先生たちが作ってくれた校長先生シール（右）と給食券（下）

校長先生との給食タイムでは、給食の食べ物のこと、陸上の話や「学校かくれんぼ」でどうして1位になれたかなど、様々な話をして、楽しい時間を過ごせたようです。

〈1・4・6年の部〉1位チームの6年生、伊藤來毅さんのコメント

「この校舎で最後の行事、楽しくやれてよかった。下の子たちが先生たちを見つけてくれた。絆が深まった。」

〈2・3・5年の部〉1位チームの5年生、林優吾さんのコメント

「みんなで一緒にやって、団結力を高められた。他の学年と仲良くなれてよかった。」

「親子で大掃除」と「学校かくれんぼ」は、子どもたちと先生方、そしてPTAの方々にとって、「みんなの学び舎」での最後の良い思い出となりました。旧大和田小での思い出を胸に、二学期から始まる新しい校舎でもたくさんの思い出を作っていってほしいです。

子ども×生成AI講演会

子どもが生成AIを使い始めたら、良い？ダメ？大人が知っておかなくちゃいけないことって？

急速に広がる生成AI。これからの子どもたちが生きる社会には〝当たり前〟になっていることでしょう。では、私たち大人はAIとどのように向き合い、子どもたちに何を伝えていけばいいのでしょうか？一緒に考えてみませんか？

11月15日㈯ 10時～
周西公民館にて
詳細はHPをご覧ください。

資料１～３　参考資料④

きみつ地域づくり協議会 周西地区設立準備会 活動紹介

周西地区では「地域づくり協議会」の発足に向けた設立準備会の活動が令和6年6月から始まっています。9月28日には新たな組織の設立総会が実施されることになりました。

はまっぺ前号（78号）以後の様子をご紹介します。

●第13回（5月21日）
第14回（6月4日）
振り返りと企画書

改めて目的や目指す地域の姿について確認した後、グループごとにアイデアを具体化させる企画書づくりに取り組み、全体での意見交換を実施しました。

●第15回（6月24日）
第16回（7月23日）
組織発足の具体化に向けて

これまでの議論を基に、組織全体としての事業計画、規約、団体名称、会員募集の方法などについて検討を行いました。

◆会員募集！

8月1日より、これまでの議論を基に発足させる組織「周西ファンBASE（ベース）」（仮称）の会員募集が始まっています。周西地区を元気にしたい、良い地域にしていきたいとお考えのみなさまのご参加、お待ちしています。

詳細は、周西公民館にあるご案内または、左からHPをご確認ください。

問合先：周西公民館（57－6080）、地域づくり課（56－1483）

周西ファンBASE公式ホームページ
地域づくり協議会特設サイト

周西公民館地区文化祭

11月8日㈯・9日㈰開催

たのしいこと、ためになること、おいしいものいっぱい!!
お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。
詳細は10月の地域回覧でお伝えします。
また、取組の様子をホームページにも随時掲載していきます。

利用者の会通信

5月18日㈰に春の環境整備が行われ、36サークル48名、公民館職員3名、総勢51名が参加しました。駐車場東側北側の草刈り機が使用できない箇所の草刈作業となりました。昨年度の意見交換会でエリア分けしたらどうかという意見がありましたので、今回は簡単にエリア分けをし、手作業で作業しました。近年の暑さが懸念されたので今回は早めの5月に行ったのですが、曇天でこの日は熱中症アラートも無く、草刈作業は無事に終了することができました。陽差しが無かったとは言え、作業中はとても汗をかきました。参加していただいた皆様、本当にお疲れ様でした。

草刈終了後は、会議室1・2で笹本館長と参加者36名で意見交換会を行い、公民館利用についてや、予約システムについての質疑応答がありました。

環境整備・意見交換会終了後は利用者の会役員で会議を行い、次回の秋の環境整備は文化祭前の10月26日㈰を予定としました。また、これからの利用者の会の方向性について意見を交わしました。

今後とも利用者の会の事業についてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

すさい文芸

▼俳句はるかぜ会

一句詠み　心なごみて　新茶のむ　田中　正子（人　見）

ふくらみて　今宵一夜の　月下美人　坂元　俊郎（西坂田）

見送は　潮来あやめの　嫁入舟　黒坂　正子（人　見）

【作品募集中】俳句・短歌・川柳など、自由に投稿いただけます。団体に所属していない個人の応募も大歓迎です。郵送やFAXなどの紙面、またはメールで応募下さい。次号の締め切りは11月4日（発行予定は12月下旬）です。※紙幅の都合により応募作品の一部のみの掲載となる場合があります。

ドキドキの始球式

7月22日㈫、第107回全国高等学校野球選手権千葉大会・ゼットエーボールパーク（市原市臨海球場）にて行われた始球式に大和田少年野球クラブのバッテリー番場朝飛くん・村松稜基くんが招待され大観衆の中堂々とした姿を見せてくれました。

村松くん　番場くん

始球式を終えた2人は「良い経験ができました。上手く投げられて良かった。高校生の試合は、迫力があって将来は、自分も高校で野球をやり、みんなに夢と感動を届けたい。」と話してくれました。

二十歳のつどい実行委員会

1月の「二十歳のつどい」に向けて、有志の皆さんによる実行委員会が動き出しました。企画・運営に携わりたい方は公民館までご連絡ください。

編集後記

今年度から人生初の編集作業に携わる事になりました。何も分からず、こんなんでいいのかな状態でなんとか記事を書いたものの、二年の任期が無事に満了できるのか不安で一杯ですが頑張ります。

そんなこんなで今号の原稿を書き上げた直後、コロナウイルスに感染してしまいました。5類感染症に移行して早2年、ものすごく油断していましたし、まさか自分が感染するとは夢にも思っていませんでした。また流行しているようですので皆様お気をつけて。（川）

旧大和田小学校 利活用について

7月3日㈭・12日㈯に実施された「旧大和田小学校の利活用に係る地域説明会」に参加してきました。市の担当課と利活用を予定している法人からの説明がありましたので、その様子をお伝えします。

旧大和田小学校周辺は、周西の丘小学校、周西中学校、県立君津高等学校が立ち並んだ地域です。君津市ではその地域特性を生かした大学の誘致に向けて、20年以上大学として運用することを条件に旧大和田小学校の土地・建物を利活用する学校法人を募集し、学校法人タイケン学園を優先交渉権者に選定しました。タイケン学園は既に全国で大学1校、専門校8校、高等学校5校を開校しており、そのうちの5校は、廃校を利活用しています。運営する大学ではトップアスリートを数多く輩出しており、オリンピックメダリスト、プロ野球選手やプロゴルファーとして活躍しているそうです。

旧大和田小学校は現在、第一種低層住居専用地域にあり、大学開校にあたっては都市計画の変更・決定が必要なため、まず来年度からは通信制高等学校を開校、再来年度春から大学の開校の予定とのことです。大学では学生寮の建設が予定され、多くの若者が君津市に居住することとなります。

また卒業生の進路にはスポーツ関連指導者や幼児体育指導者などが見込まれ、大学を誘致することにより、君津市の経済の発展、定住、活性化が期待されます。

募集条件には防災上の協定も含まれており、これまでどおり災害時の避難所としての使用もされるとのことです。

出席者からは旧大和田小学校の校舎やグラウンドなどをどのように整備していくのかといった質問がありました。これについては、校舎を建て替えるのでは無く既存校舎を利活用することと、また記念碑などについてはなるべく残す方向で整備していくとの回答でした。思い出の校舎が無くならずに今後も利活用されていくのは卒業生の皆様にもうれしいことだと思われます。

※イオンタウン君津の隣にタイケン学園グループのウェルネス保育園君津があります。

暑さに負けず笑顔いっぱい!!

◆すさい子ども教室

夏休みの宿題をお助けするプログラムを2回開催しました。1～6年生42名の参加があり、いつもと違う環境で宿題がはかどったようです。

7月24日

子ども達は、君津高校のお姉さんに勉強を教わりながら、夏休みの宿題やドリルの問題を一生懸命に解いていました。

答えは何かな

8月6日

君津高校美術部の皆さんに指導協力をいただき、夏休みの宿題の絵画ポスターづくりをしました。コツやポイントを教えてもらい、テーマに添ったポスターを上手に仕上げることが出来ました。

上手に描けたね

◆子どもキャンプ

7月26日、周西公民館と周西地区青少年相談員が主催する「すさい子どもキャンプ（デイキャンプ）」を開催し、4～6年生17名の参加がありました。

あつ～い日でしたが、そんな暑さもなんのその！

午前中は清和県民の森でカレー&ナンづくりに挑戦。食後には、お楽しみのスイカ割り。午後からは柿山田オートキャンプガーデンに移動して、川遊びを楽しみました。

笑顔と元気があふれる一日になりました！

ナンが焼けたよ!

〔参加者の感想から〕

。自分にとってはじめての子どもキャンプは不安がたくさんあったけど、様々な場所で、様々なことが知れてとても楽しかった。

。スイカわりたのしかった！

。とってもいいばしょで楽しかった！

。みんなでナンを力わざでつくったり、川で生き物を探してみたりして楽しかった。

わがまちを守る消防団

今年度から、周西公民館地区に3つあった消防団が2つの分団となりました。

火災や災害が発生したときはもちろん、日常から様々な活動を行っている消防団。今回は分団長のお二人にお話を伺いました。

現在8分団は17名、10分団は32名の団員の方がいるそうです。

これから、どんな分団にしていきたいですか？の質問にお二人とも、「役員同士でこまめに連絡を取り合い、地元の人との関わりを大切に年齢を問わず仲間を増やして活動していきたい。」とお話ししてくれました。

※8分団は、坂田・東坂田・西坂田・君津台・高坂、10分団は、大和田・入見・中富（一部）・君津・西君津が担当エリアです。

写真右：8分団・団長戸田さん（入団歴9年目）
写真左：10分団・団長小松さん（入団歴11年目）

人見神社祭礼の幟旗一新

7月20日に行われた人見神社の例大祭で、大鳥居の前に立てられる大きな幟旗が今年は新しいものに替えられました。これまで使用されていた幟旗は昭和55年（1980）に作られたものだったので、45年振りの新調となりました。

人見神社宮司の宮嵜慎さんのお話によれば、幟竿の全長は約22m、旗は16mあり、以前は人力で立てていたのですが、近年になって、人手不足等もあり、クレーンを使うようになったとのことでした。昔は幟竿に使う長い木材が小糸川の上流から水上を流して運ばれてきたこともあるそうです。

令和2・3年はコロナウィルスの影響で祭礼が休止となり、その後も旗の劣化のために、幟が立てられない年が続きましたが、今年はようやく幟を立てることができました。

また祭礼世話人の大内喜代治さんのお話によると、人力で幟竿を立てていた頃は、今より人数も大勢で年齢層も若く、作業を仕切る人が火打石で切り火を切ってから、威勢よく作業を始めるという光景も見られたそうです。

（取材協力：人見神社社家 鳥居正寛さん・祭礼支配人副代表 白井幸男さん・祭礼世話人 大内喜代治さん）

幟立ての様子　令和7年7月18日朝

新しい幟旗

君津ふるさとかるた

平成版　令和版　日鉄札

君津市の代表的な企業である日本製鉄（旧新日本製鐵）は、平成13年（2001）7月発行の「君津ふるさとかるた」（平成版）、令和4年（2022）2月発行の「令和版君津ふるさとかるた」の両方で札の題材に取り上げられています。

平成版かるたは「新日本製鐵君津製鐵所」の時代、令和版かるたは「日本製鉄東日本製鉄所君津地区」となってからのものですが、両方のかるた共、絵札には高炉が描かれています。高炉とは鉄鉱石から銑鉄を製造する溶鉱炉のことで、君津製鉄所では合計4基の高炉が造られました。

これらの高炉は高度成長期であった昭和42年（1967）から、オイルショック後の昭和50年（1975）までの間に段階的に増設されましたが、その後の経済情勢の変化等により、何度かの休止や再稼働を繰り返して現在に至っています。各高炉の建設着工と火入れは左記の通りです。

第1高炉
着　工　昭和42年9月7日
火入れ　昭和43年11月27日

第2高炉
着　工　昭和43年8月10日
火入れ　昭和44年10月1日

第3高炉
着　工　昭和44年9月
火入れ　昭和46年9月13日

第4高炉
着　工　昭和49年3月
火入れ　昭和50年10月3日

【参考文献】
『日々新たに』新日本製鐵株式会社1985

平成版絵札「よ」
溶鉱炉　マグマのように
燃える鉄　柱となって
世界を支える
（坂田小学校　坂井風音）

令和版絵札「せ」
世界に誇る製鉄所
君津の町を　支えてる
（大和田小学校　平賀優基）

定点撮影 すさい今昔⑮ いまむかし

君津製鉄所正門

写真1　新日本製鐵君津製鐵所正門／昭和60年（1985年）8月19日撮影【撮影者：菱田忠義氏】

昭和40年（1965）4月1日に八幡製鐵株式会社君津製鐵所が操業を開始し、昭和45年（1970）3月31日には八幡製鐵・富士製鐵の両株式会社が合併して、新日本製鐵株式会社が発足した。以来、通称「新日鐵」と呼ばれ、翌年市制施行された君津市の主要企業として地域の発展を支えてきた。

写真2　日本製鉄東日本製鉄所君津地区正門／令和6年（2024年）6月30日撮影【撮影者：小沢】

新日本製鐵株式会社発足から42年を経過した平成24年（2012）10月1日、新日本製鐵・住友金属の両株式会社の合併により、新日鐵住金株式会社が新たに発足した。さらに、平成31年（2019）4月1日、新日鐵住金株式会社は日本製鉄株式会社に社名が変更され、長年にわたって慣れ親しんできた「新日鐵」という呼び名も消え去ることとなった。製鉄所名も「東日本製鉄所君津地区」という名称に改められている。

現在、製鉄所正門入口のゲートには「NIPPON　STEEL」という英語表記とともに新しい社名・製鉄所名が大きく記載されている。なおゲートの手前右方には、新日鐵君津製鐵所時代の鉄製社名板が、文字を消されたまま残されている。

資料１～３　参考資料⑤

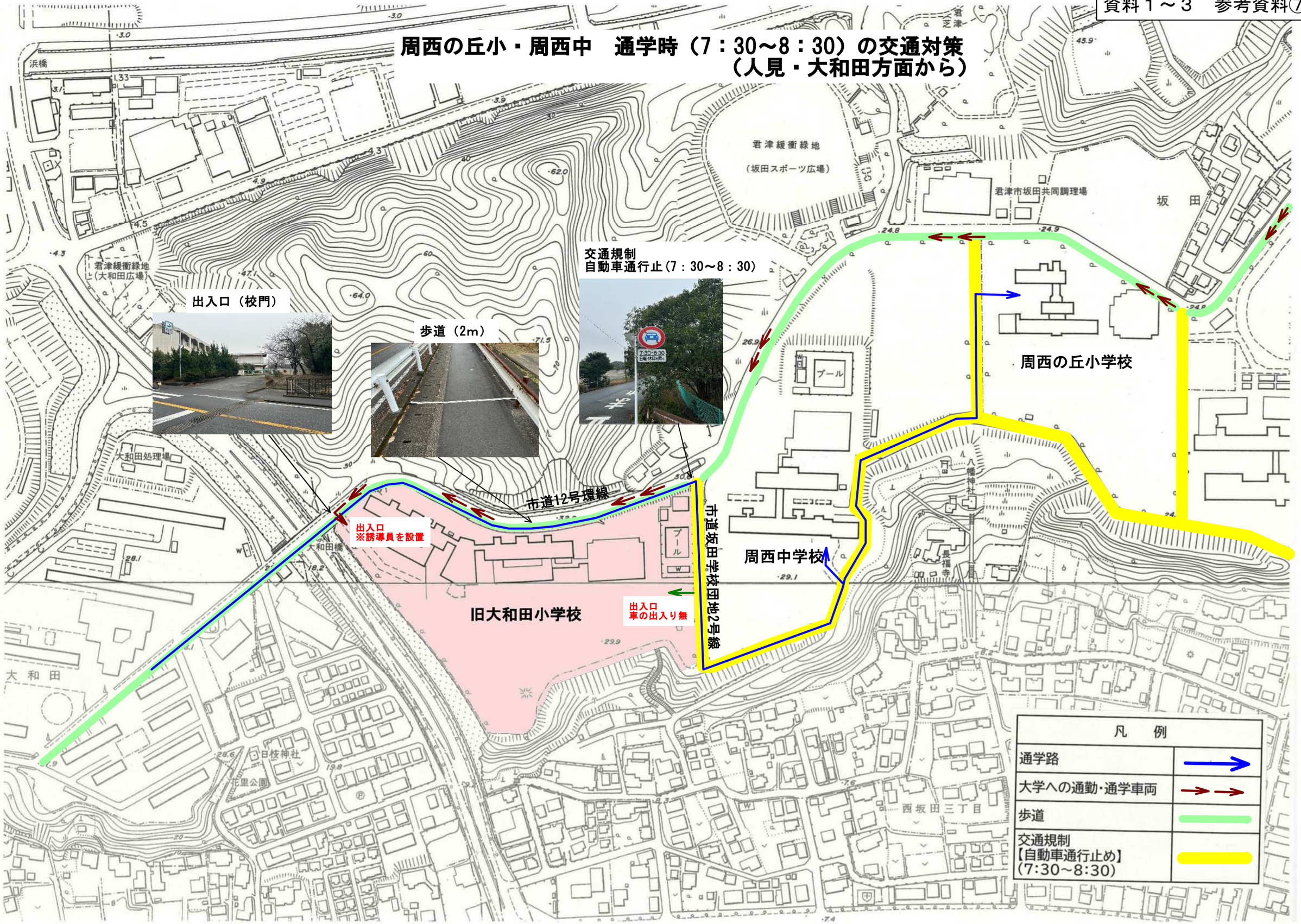
配置計画図（参考図）

周辺環境への影響及び対策に関する調書

周辺環境への影響	対　　策
○大気・騒音・振動・水質等	計画施設が教育関連施設で既存の校舎等を生かした改修工事を予定しており、工場や特別な設備を伴う計画も無いため、特段の環境対策は不要と考えられます。
○生活環境	①通学路 当該地の北側道路及び東側道路が、周西の丘小学校及び周西中学校の通学路に指定されています。 小中学生の通学時間帯の大学への出入りもあるため、歩道を横断する車への対応が必要です。 ↓対策 北側道路（市道１２号環線）には、歩道が整備されており、東側道路（市道坂田学校団地２号線）では、交通規制【通学時間帯の自動車通行止め（7：30～8：30）】がされています。 交通状況を鑑み、大学から交通誘導員を配置することで、安全対策が図られます。 ②日照、通風、採光 新たに建築される建物（学生寮）によっては、日影等が発生する恐れがあります。 ↓対策 新たに決定される第一種中高層住居専用地域の日影規制や第一種高度地区の高さ制限を遵守して建築することにより、周辺の住環境への影響を抑え、良好な居住環境が保たれます。 ③緑化、景観 施設改修工事による緑化の減少や景観悪化が懸念されます。 ↓対策 新たに決定される地区計画に則り、生垣や草花等の植栽による地区内緑化に努められると共に、君津市景観計画に定めた色彩基準を満たすものとなります。

【添付書類：参考資料⑦】

○周西の丘小・周西中　通学時（7：30～8：30）の交通対策（人見・大和田方面から）

資料１～３　参考資料⑦

周西の丘小・周西中　通学時（7：30～8：30）の交通対策（人見・大和田方面から）